

あんどーなつ

作 西ゆづじ 画 テリー山本

私が定期購読をしている雑誌ビッグコミックオリジナルに掲載されている作品です。主人公は浅草の老舗の和菓子屋で職人見習いをしている安藤奈津（あんどーなつ）。洋菓子職人になるための勉強をしていた彼女が、ひよんなことから和菓子職人の道を進むことになっていきます。彼女はとても元気で、明るく素直、へこたれない女性として描かれています。もちろん悪役としてライバル和菓子店の意地悪お嬢さんもいます。彼女の嫌みや横やりも、奈津は悪意として受け取ることなく修行に励みます。「こんなにいい人が本当にいるのかしら」と思いつつも、私は前に向かって行こうとする元気な人の話が好きなのでこの作品を毎回楽しみに読んでいます。前回は、銀座のデパートの催し物（その場でお抹茶と食べることが出来る）に出店するお菓子を彼女が拵える話でした。彼女のアイデアで出来た和菓子は今まで大好評ばかりでしたが、今回は初めて売れなかつたお菓子でした。おいしく、見た目も良いお菓子で、浅草のお店では売り切れるくらいの人気なのに銀座では自宅用としてしか売れませんでした。皆が着飾って出かけてくる銀座と言う街にサツマイモのお菓子は似合わないという理由でした。彼女はその場所に合ったお菓子を拵えるのも大事と言うことを学びました。私は「何にでもT・P・Oが大事なのは分かる。でも見た目もきれいでおいしそうやったら関係ないやん」とポソリと思ってしまうました。

N・F



掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株)ファッションビジネス・御堂筋新聞